

次期生物多様性国家戦略研究会について

1. 目的及び構成委員

- ・現行の生物多様性国家戦略である「生物多様性国家戦略 2012-2020」に代わる次期生物多様性国家戦略は、2020 年 10 月の生物多様性条約 COP15 で採択予定のポスト 2020 生物多様性枠組を踏まえた上で、2021 年に策定予定。
- ・生物多様性国家戦略は中央環境審議会での審議等を経て閣議決定されることとなるが、それに先立ち、中央環境審議会での審議の際に必要な課題の抽出及び対応の方向性の検討を行うために、次期生物多様性国家戦略研究会を立ち上げるもの（設置要綱案は別紙の通り）。
- ・研究会の構成委員は以下の通り。

（敬称略・五十音順）

愛甲 哲也 北海道大学大学院農学研究院 准教授
 香坂 玲 名古屋大学大学院環境学研究科 教授
 中静 透 総合地球環境学研究所 特任教授
 橋本 禅 東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授
 原口 真 MS&AD インターリスク総研(株)産学官公民金連携・特命共創プロデューサー
 廣井 良典 京都大学こころの未来研究センター 教授
 深町 加津枝 京都大学大学院地球環境学堂 准教授
 藤倉 克則 海洋研究開発機構 上席研究員
 三橋 弘宗 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 講師
 森本 淳子 北海道大学大学院農学研究院 准教授
 山野 博哉 国立環境研究所生物・生態系環境研究センター長
 吉田 丈人 総合地球環境学研究所 准教授、東京大学大学院総合文化研究科 准教授

なお、各回のテーマにより、当該分野の専門家等を招き議論に参加していただく場合がある。

2. 検討の進め方

- ・第 5 次環境基本計画では、COP15 で採択予定のポスト 2020 生物多様性枠組を踏まえて 2021 年以降に生物多様性国家戦略の改定を求められている。
- ・このため、本研究会では、IPBES の各種報告書や地球規模生物多様性概況第 5 版 (GB05) 等の地球規模の生物多様性の状況と、国内関係の情報として 2020 年度に向けて作成を進める生物多様性及び生態系サービスの総合評価 2020 (JB03)、環境研究総合推進費 S15 「社会・生態システムの統合化による自然資本・生態系サービスの予測評価 (PANCES)」、生物多様性国家戦略 2012-2020 最終評価等の成果等を踏まえつつ、検討を進める。

